

ほけんだより

まつさかしやうぎやうこうとうがっこう ほけんしつ
松阪商業高等学校 保健室

2019. 5. 16(木)

5月の連休が終わり、暑くなったり寒くなったりと寒暖差があり、体調を崩す生徒もいます。来週から中間テストに入るので、体調管理をしっかりして普段の実力が発揮できるようにしましょう。

本校では、4月～5月に「インフルエンザB型」、「百日咳」の学校感染症の報告がありました。今のところ校内で流行には至っていませんが、どこで感染するかわかりません。気になる症状が出ている場合は、早めに病院受診をしましょう。

インフルエンザB型

感染力は強いものの、高熱にはなりにくいです。ただし、自覚しにくい上に、体内にウイルスが残留する期間が長いため、身近な人にうつしてしまう可能性が懸念されます。A型よりも解熱に時間がかかります。症状としては、消化器系の症状があります。

百日咳

百日咳菌が原因です。短く激しいコンコンという咳が特徴です。夜間に咳が多く出ることがあり、咳が出始めると止まらないので眠れなくなります。中高生になると熱を伴わないことが多いです。幼少期に三種混合という予防接種を受けている場合も、効果は薄れてくる時期になります。熱はないが、長引く乾いた咳が続いている場合は早めに受診をしましょう。治療は、菌に効く抗生物質を飲めばすぐ治ります。

*罹患した場合学校感染症による出席停止となります

「出席停止の期間の基準」

インフルエンザ 発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで。

百日咳

特有の咳が消失するまで、または、5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで。

インフルエンザも百日咳も飛沫感染です。予防として大事なことは、咳が出ている時はマスクをすること。手洗い、うがいをすることです。咳が出ている人は、マスクを着用しましょう。